

令和5年10月10日  
港湾局 海洋・環境課

### 令和5年度

## 「第1回 地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」の開催 ～ブルーカーボン生態系の活用に向けて～

国土交通省では、脱炭素社会実現への貢献を目指し、CO<sub>2</sub>吸収源の新しい選択肢として注目されるブルーカーボン生態系<sup>\*</sup>の活用に向けた具体的な検討を進めるため、令和5年10月13日に令和5年度第1回目となる「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」を開催します。  
<sup>\*</sup>ブルーカーボンとは藻場や干潟などの海洋生態系に蓄積される炭素のことであり、そうした蓄積作用を有する生態系を「ブルーカーボン生態系」と言います。

「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」は、港湾におけるCO<sub>2</sub>吸収源対策としてブルーカーボンを活用していくための具体的な検討を行うことを目的に設置しています。過年度の検討会においては、地方港湾以上の港湾区域を対象としたブルーカーボン生態系によるCO<sub>2</sub>吸収量の検討及び試算結果の報告、ブルーカーボン・クレジット制度（Jブルークレジット<sup>®</sup>）の活用拡大に向けた、Jブルークレジット<sup>®</sup>の活用状況等のフォローアップ等を行いました。

令和5年度は3回程度の開催を予定しており、その第1回目にあたる本検討会においては、ブルーカーボン生態系の温室効果ガスインベントリ<sup>\*</sup>報告に向けた方針の検討、「命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクト」（別紙1参照）やJブルークレジット<sup>®</sup>の取組状況に関する報告等を予定しています。

<sup>\*</sup>：一国が一年間に排出・吸収した温室効果ガスの量を取りまとめたデータ（目録）

### 記

1. 日 時： 令和5年10月13日（金） 10:00～12:00
2. 場 所： 新橋ビジネスフォーラム（東京都港区新橋1-18-21 第一日比谷ビル8階）
3. 主な内容：
  - ・温室効果ガスインベントリ報告に係る検討
  - ・「命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクト」の取組状況
  - ・Jブルークレジット<sup>®</sup>の取組状況 等
4. 委 員： 別紙2参照

○検討会については非公開、カメラ撮りについては議事開始前までとさせていただきます。

○検討会終了後に同会場にて記者ブリーフィングを実施予定です。取材を希望される方は、10月12日（木）までに以下のメールアドレスに、氏名（ふりがな）、所属、連絡先（電話番号、メールアドレス）をお送りください。

・送付先：iiboshi-a852a★mlit.go.jp  
masuda-d86bf★mlit.go.jp （※「★」を「@」に置き換えてください。）

※取材については各社1名とさせていただきます。

○配布資料、議事概要については、後日、国土交通省のこちらのホームページにて公開する予定です。

[https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan\\_tk6\\_000069.html](https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk6_000069.html)

#### 【問い合わせ先】

港湾局海洋・環境課 中沢、飯干、増田

TEL:03-5253-8111（内線46654、46682）、03-5253-8685（直通）

# 「命を育むみなどのブルーインフラ拡大プロジェクト」について

- 国土交通省では、ブルーカーボン生態系を活用したCO2吸収源の拡大によるカーボンニュートラルの実現への貢献や生物多様性による豊かな海の実現を目指し、ブルーカーボンの拡大を進めるため、「命を育むみなどのブルーインフラ拡大プロジェクト」を令和4年度より取組開始。
- これまでも浚渫土砂や産業副産物等を活用し、藻場や干潟の造成等に関する取組を進めてきたが、藻場・干潟等及び生物共生型港湾構造物を「ブルーインフラ」と位置付け、全国の海へ拡大することを目指し、市民団体や企業の参加を促進するためのマッチング支援及び普及啓発等を進める。

## ブルーインフラ

【海草(うみくさ)藻場】



【海藻(うみも)藻場】



【干潟】



【生物共生型港湾構造物】



### 【命を育むみなどのブルーインフラ拡大プロジェクト】

- ・ブルーインフラの保全・再生・創出の拡大に向けた環境整備等の取組を短期集中的に進める
  - ①ブルーカーボンの先導的な取組の推進(全国展開)
  - ②温室効果ガス吸収源の拡大効果の簡便な算定手法の検討
  - ③港湾施設の設計・工事における環境保全への配慮に係る取組の強化

## 地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会

## 委員名簿

〔敬称略・順不同〕

## 〔委員〕

木場 弘子	フリーキャスター・千葉大学 客員教授
木村 尚	NPO法人海辺つくり研究会 理事
桑江 朝比呂	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 沿岸環境研究領域長
佐々木 淳	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授
佐藤 淳	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 主任研究員
中村 圭吾	公益財団法人 リバーフロント研究所 主席研究員
堀 正和	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター グループ長

## 〔行政関係者〕

農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課 地球環境対策室  
農林水産省 農村振興局 整備部 防災課  
農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究開発官室  
水産庁 漁港漁場整備部 整備課  
水産庁 漁港漁場整備部 防災漁村課  
水産庁 増殖推進部 研究指導課  
国土交通省 総合政策局 環境政策課  
国土交通省 水管理・国土保全局 海岸室  
国土交通省 港湾局 海岸・防災課  
環境省 大臣官房 環境経済課 市場メカニズム室  
環境省 地球環境局 総務課 脱炭素社会移行推進室  
環境省 水・大気環境局 海洋環境課 海域環境管理室  
環境省 自然環境局 自然環境計画課  
経済産業省 産業技術環境局 GX推進企画室

## 〔オブザーバー〕

ジャパンプルーエコノミー技術研究組合  
港湾空港技術研究所  
横浜市温暖化対策統括本部  
福岡市港湾空港局  
一般財団法人 港湾空港総合技術センター

## 〔事務局〕

国土交通省 港湾局 海洋・環境課